

2025 年 度

世 界 史

注 意

1. 監督者の合図があるまでは問題冊子と解答用紙を開かないでください。
2. 解答はすべて解答用紙の決められた箇所に記入してください。
記号で答えられるものは記号で記入してください。
3. 試験開始後、解答用紙に氏名・受験番号を記入してください。
4. 試験問題はこの冊子の1～10ページに記載されています。
問題冊子の白紙部分は、メモとして使用して構いません。
5. 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ってください。

I 1867年メキシコで起きた凄惨な事件を主題にした絵画に関する次の文章を読んで、文中の下線部(1)～(8)に対応する問1～8に答えなさい。

19世紀フランスの画家エドゥアール＝マネが描いた絵画に「マクシミリアンの処刑」という作品がある。描かれたのは、1867年6月19日、メキシコ帝国の皇帝マクシミリアンが二人の側近の将軍と共に、メキシコの反乱勢力の銃殺隊に処刑される場面である。これは、皇帝ナポレオン3世の治世にあった当時のフランスと密接に関わる事件であった。⁽¹⁾ナポレオン3世は、メキシコに対して領土的野心から軍事的介入を行い、⁽²⁾メキシコの自由主義派のファレス政権を倒し、1864年にはメキシコ帝国を創設、その初代皇帝にオーストリア皇帝フランツ＝ヨーゼフ1世の弟マクシミリアンを即位させる。しかし、メキシコ人の激しい抵抗や南北戦争終了後のアメリカの抗議もあり、⁽³⁾ナポレオン3世がメキシコからフランス軍を撤退させると、⁽⁴⁾皇帝マクシミリアンは1867年5月にメキシコの自由主義勢力に捕えられ、同年6月19日にケレタロの丘で側近の将軍二人と共に銃殺されてしまう。自らが皇帝に即位させたマクシミリアンがメキシコ側に処刑されたことは、ナポレオン3世の威信を失墜させることになった。⁽⁵⁾

1867年、画家マネが住んでいたパリでは万国博覧会⁽⁶⁾が華やかな賑わいを見せていたが、遠く離れたメキシコで起きたこの事件はたちまちフランスで報道される。この出来事を知ったマネはすぐさまそれを主題とした絵画作品の制作に取り掛かり、およそ一年半の間に同主題の作品を複数点制作した。制作にあたり、マネはかつてマドリードのプラド美術館で見たスペインの画家ゴヤによる著名な絵画「1808年5月3日」(1814年作)を参考にしたとされる。この作品では、当時の皇帝ナポレオン1世のフランス軍が、⁽⁷⁾1808年5月2日に始まったマドリードの民衆蜂起を鎮圧し、捕えた市民を翌日3日に銃殺する場面が描かれており、ゴヤの強い怒りは戦争の残酷さそのものに向けられている。マネは、ゴヤの作品の構図を参考にしたものの、メキシコで起きたこの事件について可能な限り情報を収集し、史実に基づいて描くことを試みた。1869年、マネは満を持して完成作「マクシミリアンの処刑」を当時の官展(サロン)に応募しようとしたものの、実際には出品に至らなかった。当時の書簡や新聞・雑誌等の記事によると、ナポレオン3世の外交的失策をあらわにするマ

ネのリアリズムが政府当局により危険視され、検閲を受けたためと言われる。150年以上の時を経た今日、この事件を扱った油彩画4点は「近代絵画の父」マネの作品⁽⁸⁾としてヨーロッパ・アメリカの美術館に所蔵され、鑑賞されている。

「マクシミリアンの処刑」という絵画制作をめぐる経緯から浮き彫りになるのは、19世紀ヨーロッパと南北アメリカの諸地域における近代国民国家の発展を背景に、ナショナリズムや自由主義改革、列強国による領土獲得を目指す帝国主義政策などが絶えず軍事的抗争を生み出していた歴史的状況である。

問1 ナポレオン3世の治世について、(a)～(c)に該当する名称と年号を答えなさい。

- (a) 国民投票を行って即位した皇帝ナポレオン3世の治世の名称。
- (b) (a)の治世が始まった年。
- (c) ナポレオン3世の治世より前にパリで起こった二月革命は、ヨーロッパ各地に波及し、ウィーン体制を崩壊させた。そのなか、1848年5月からドイツにおいて統一国家達成と憲法制定のために開かれた立憲議会の名称。

問2 ナポレオン3世はメキシコへの遠征以外にも、東アジア・東南アジアへの対外政策を行った。これについて、(d)～(g)に該当する名称を答えなさい。

- (d) イギリス国旗を掲げて広州に停泊中であつた帆船の水夫が逮捕された事件を口実に、イギリスがフランスと連合して清に対して起こした1856～60年の戦争。
- (e) (d)に関し、1858年に清とロシア・アメリカ・イギリス・フランスが結んだ条約。
- (f) ナポレオン3世のインドシナ出兵は、フランスのインドシナ植民地化の第一歩となつたと言われる。その後、1887年に成立したフランス領インドシナ連邦を構成する国のうち、1863年以来フランスが保護国としていた国。
- (g) 19世紀半ばにベトナムの宗主権をめぐりフランスと清との間で戦争が起こる。その時にフランスの軍事介入を受けた、1945年まで続くベトナム最後の王朝。

問3 南北戦争をめぐる状況に関する説明として、誤っているものを下の(あ)～(え)から一つ選び、記号で答えなさい。

- (あ) 北緯36度30分以上に新たな奴隷州を認めないとしたミズーリ協定に反し、カンザス・ネブラスカ両準州ではその選択を住民に委ねることになった。
- (い) 南部は奴隷制に基づく大農園を経営し、綿花生産の拡大を目指し、イギリスに対抗すべく保護貿易主義を主張した。
- (う) 南北戦争が始まると、大統領のリンカーンはホームステッド法(自営農地法)によって西部農民の支持を固め、1863年に奴隷解放宣言を出した。
- (え) 南北戦争で北部が勝利すると南部においても奴隷制は廃止されたが、解放された人々の多くは、農地の分配を受けられずに、シェアクロッパーとして貧しい生活を送った。

問4 ナポレオン3世の遠征が失敗に終わった後のメキシコについて、(h)・(i)に該当する人物の名前を答えなさい。

- (h) 1876年のクーデタで政権を奪い大統領となり、長期にわたり独裁体制を敷いたが、メキシコ革命で打倒されフランスに亡命した人物。
- (i) 1910年のメキシコ革命に参加した農民運動指導者であり、メキシコ憲法を制定したカランサ派により1919年に暗殺された人物。

問5 ナポレオン3世はその後プロイセン＝フランス戦争に敗れる。ユンカー出身で、プロイセン首相として軍事拡張を実行してドイツ統一を達成、のちにフランスの孤立を目指す外交政策を展開した政治家の名前を答えなさい。

問6 万国博覧会に関する下記の文章を読んで、文中の空欄 ～ にあてはまる最も適切な語句または数字を記入しなさい。

1851年の第1回万国博覧会が開かれたのは、1837年に即位した の治世下のロンドンであり、産業革命を経て「世界の 」として繁栄したイギリスの近代工業力の成果が国内外に誇示された。また目覚ましく発達した世界の交通により、万博には世界各国から人が集まり、1873年にウィーン万博を訪れた日本の岩倉遣欧使節団は、フランス人レセップスにより建設されて1869年に開通した 運河、同年に完成したアメリカ合衆国の東西を結ぶ 鉄道を利用している。アメリカ独立宣言から100年目の 年には、アメリカの都市フィラデルフィアで万博が開催された。

問7 1815年、フランス軍は現在のベルギーにてイギリス・オランダ・プロイセン連合軍に敗れ、それによりナポレオン1世は退位に追い込まれた。この戦いの名称を答えなさい。

問8 マネと同様に19世紀ヨーロッパの文化を代表する人物の説明(j)～(l)について、該当する人物の名前を下の(お)～(こ)から一つ選び、記号で答えなさい。

- (j) フランス近代小説の創始者。心理描写に優れ、現実を直視して写実主義の先駆者となった。代表作は復古王政下の政治と社会を批判的に描いた『赤と黒』など。
- (k) ドイツの詩人・作家。「疾風怒濤」の旗手となる一方、ヴァイマル公国の宰相としても活躍した。代表作は戯曲『ファウスト』など。
- (l) フランス写実主義の画家。民衆や社会を力強く描いた。パリ＝コミューンに参加した後、スイスに亡命した。代表作は「オルナンの埋葬」など。

- (お) クールベ
- (か) ハイネ
- (き) フロベール
- (く) ミレー
- (け) スタンダール
- (こ) ゲーテ

II 中国では古来、宗教的結社が困窮した民衆の受け皿となり、統治の動揺をもたらすとともに、しばしば儒学的素養に立つエリート層に対抗した。そうした事例に関する次の文章(あ)～(お)を読んで、文中の空欄 [A] ～ [O] にあてはまる最も適切な語句を記入しなさい。

(あ) この王朝の末期、儒学を修めた官僚を弾圧する宦官勢力の専横が極まると、地方でも腐敗が進み、中小農民が没落するなかで、新興の民間信仰が勢力を伸ばした。このうち張角が率いた [A] という宗教結社は、呪符や符水による治癒を唱えて民心を捉え、2世紀後半、河北一帯に大規模な乱を起こした。乱そのものは早々に鎮圧されるが、農民反乱は全国に飛び火し、王朝滅亡の一因となった。この宗教結社は、ほぼ同じころ成立した五斗米道(天師道)とともに、神仙思想と結びついた古来の伝統が [B] に組織化される最初の動きとされる。

(い) 窮乏する衆生の救済を唱える弥勒下生の教えにより民衆を惹きつけた新興宗教 [C] は、12世紀ごろの成立と考えられる。1351年、指導者韓山童が、漢民族王朝の末裔を自称して蜂起すると、これに各地の勢力が呼応し大農民反乱 [D] に発展、王朝の崩壊を決定づけた。しかし乱内部で頭角をあらわした有力武将 [E] は、儒者を重用しこの宗教から離れ、1366年、韓山童の子で弥勒菩薩の化身とされた韓林兒を謀殺、禁教令を発した。これにより15年に及ぶ乱は終息し、 [E] はその翌々年即位することになる。

(う) 原産地である [F] からもたらされたトウモロコシやサツマイモは、華中内陸山間部への農民の移住を促したが、耕作の容易な土地は程なくほぼ開墾しつくされる。土壌流出など深刻な弊害も生じ、後発の移住者はとりわけ深刻な困窮に陥った。この危機に貧農を惹きつけたのは、またしても [C] であった。1796年、教団が湖北で決起すると、四川・陝西一帯の困窮農民による大反乱へと発展した。治安維持を主に担ってきた緑営や、王朝成立以前から社会制度を基盤とする正規軍である [G] がほとんど機能しないなか、乱と対峙したのは地方の地主層が組織した、 [H] と呼ばれる一種の義勇軍だった。地方地主層

は官吏登用制度 を通し政治的実力を蓄え、 と呼ばれていた。一方8年ほどに及ぶ乱で、王朝の財政は大いに疲弊した。

(え) 広東省の客家に生まれた は、南京条約の翌年、4回目となる に失敗すると、数年前からくり返し夢に見た「天上の老人」の声に従い、家に祀る孔子像を廃棄した。その後、彼を中心に広西の山地を拠点に組織された宗教結社が、 である。やがて彼は「キリストの弟」とされ、太平天国の国号を掲げ独立を宣言、南京を占領して都「天京」とした。彼らを阻んだ主力は、湖南・湖北の を組織化した軍事組織(郷勇)である であった。初め文人官僚の曾(曾)国藩により故郷、湖南で組織された漢人主体のこの軍事組織は、苦戦しながらも乱を抑えたが、北京はこの間に英仏連合軍に占領され、清朝は列強の強引な要求に屈する条約を受け入れた。乱は結局列強の力を借り鎮圧され、 は陥落直前の天京で病死した。

(お) 19世紀末、災害で窮乏した華北一帯の農民や下層労働者の間に、拳法の修練により刀や槍も斥ける呪力を得られると教える民間宗教が広まり、 の流れを汲むともされるこの宗教を核として、排外的な民衆集団 が急速に形成された。この民衆集団は1898年、ドイツの進出に反発し山東省で教会や鉄道を破壊し、キリスト教徒を殺傷。さらに北京に進出し、1900年には外国公使館を包囲、外交官を殺害するなどしたが、清朝は最終的に彼らを支持し列強に宣戦した。日本とロシアを主力とする8ヶ国は救援を理由に派兵し、翌年にかけての戦争で を鎮圧、清朝からその歳入の数倍ともされる賠償金や北京駐屯権を得た。これらを定める最終議定書に署名する屈辱を喫したのは、北洋大臣に再任された だった。 で世に出、曾国藩の薫陶を受け、淮軍を組織したこの政治家は、署名からまもなく病死した。

Ⅲ アメリカとフランスで起きた「同時多発テロ」とその対応に関する次の文章を読んで、文中の空欄 [A] ～ [H] にあてはまる最も適切な語句または数字を記入し、下線部(1)・(2)に対応する問1・2に答えなさい。

2001年、アメリカで同時多発テロ事件が発生した。「テロとの戦い」を掲げる [A] 大統領のもと、アメリカはアフガニスタンとイラクへの軍事行動を拡大した。これによりイラクでは ⁽¹⁾ [B] 大統領の政権が倒された。しかし大量破壊兵器は発見されず、治安の安定も回復されていない。アフガニスタンでもアメリカ軍の撤退とターリバーン政権の復活により、⁽²⁾ 混乱が生じている。

フランスでは2015年にパリで同時多発テロが発生したが、実行犯の多くが移民の2世、3世であったことから、移民への風当たりが強まり、反移民を掲げて支持を伸ばす政党もある。

もともとフランスは、ヨーロッパからの労働者が多い国だった。だが「アフリカの年」と呼ばれる [C] 年、アフリカではフランスの旧植民地を含む17の独立国が成立した。その後のエヴィアン協定では、それまで民族解放戦線(FLN)が武装闘争を展開してきた [D] の独立も承認された。やがて文化の大きく異なる国からの移民が増え、軋轢が起こるようになったのである。たとえば1980年代の終わりには、ヒジャブをかぶって登校した女子学生が退学処分となった。以来フランスでは、「ライシテ」という言葉が頻繁に聞かれるようになった。ライシテとは、1905年にカトリック教会の政治介入を排除する目的で成立した [E] 法にさかのぼる原則である。この原則がいま、移民に対して、宗教的なしるしを誇示してはならないという意味で使われているのだ。

しかしフランスが忘れてはならないのは、すでにフランス革命前の18世紀の段階で、『哲学書簡』の作者として知られる [F] が宗教的寛容を説いていたことである。1894年にユダヤ人将校の [G] がスパイ容疑をかけられたときも、彼を擁護する人たちは反ユダヤ主義の原因を無知に求めていた。しかも「私は弾劾する」と題する記事でこの冤罪事件を批判した作家の [H] を、フランスは偉人としてたたえているのである。

問1 日本の当時の内閣は、首相の北朝鮮訪問を実現させた一方、下線部(1)の際には、後方支援のために自衛隊を派遣することを決定した。この内閣を率いた首相の名前を答えなさい。

問2 この地で長年人道支援を行い、名誉市民権も授与された人物の名前を下の選択肢(あ)～(え)から一つ選び、記号で答えなさい。

(あ) ガンディー

(い) スーチー

(う) 中村哲

(え) マンデラ

IV 以下の文章の空欄 ～ にあてはまる最も適切な文を下の選択肢(あ)～(か)から一つ選び、記号で答えなさい。

大韓民国(韓国)は、第二次世界大戦後に建国されて以来、さまざまな曲折を経て、現在までの繁栄を築いてきた。初代大統領の李承晩は、。1961年にクーデタで政権を握り、1963年に大統領となった朴正熙は、。韓国南西部の光州で起きた民主化運動を鎮圧して1980年に大統領の座についた全斗煥は、。1992年の大統領選挙で政権にいた金泳三は、。1997年の大統領選挙で当選した金大中は、。

選択肢

- (あ) アメリカの支援を受けつつ朝鮮戦争を戦い、休戦協定を結んだが、強圧的な政治姿勢や不正選挙が学生や市民の大規模なデモを引き起こし、失脚した
- (い) 開発独裁路線を継続し、大統領として初めて日本を訪問するなど、日本との関係強化を図ったが、民主化運動の高まりを受けて憲法を改正し、退任後には無期懲役の刑を科せられた
- (う) 韓国史上初の選挙による与野党政権交代を果たしたのち、北朝鮮に対話を呼びかけて初の南北首脳会談を実現し、ノーベル平和賞を受賞した
- (え) 32年ぶりに政権についた文民大統領であり、軍人出身大統領の不正と弾圧を追及し、経済の急速な自由化を進めたが、通貨の暴落を契機とする経済危機を招いた
- (お) ベトナム戦争に参戦してアメリカを支援し、日韓基本条約を締結して日本との国交を正常化するなど、日米両国との関係を重視して、急速な経済成長を実現した
- (か) 民主化の推進と歴史の見直しを掲げ、済州島を訪問して過去の弾圧事件を謝罪したほか、北朝鮮との首脳会談を実現させたが、退任後には親族の不正疑惑などを追及され自殺した